



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～6組  
 教科担当者：（1組：土井）（2組：土井）（3組：土井）（4組：榛原）（5組：榛原）（6組：榛原）  
 使用教科書：（三省堂「新言語文化改訂版」）

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。  
 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、

科目 言語文化	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したり
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使う	読書の意義について考える 「食器棚の奥で」		○	○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と	○	○	○	5
	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・文章の意味は、文脈の中で形成さ	言語文化について考える 古文に親しむ 「いろは歌」 「児のそら寝」		○	○	○	○	○	○	8
	定期考査	(実施せず)								
2 学 期	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 我が国の言語文化 ・小説の世界に親しむために、小説を読むために必要な知識について理	構成や展開について考える 登場人物の心情の変化とその契機をとらえる 「羅生門」		○	○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と	○	○	○	10
	定期考査						○	○	1	
	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につい	言語文化の継承と創造について考える 物語における心情表現の特徴を捉える 「伊勢物語・・芥川/筒井筒」		○	○	【知識・技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	○	○	○	14
定期考査						○	○	1		
3 学 期	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 我が国の言語文化 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現など	人物像や心情について考える 人物像を批評する 「平家物語・・木曾の最後」	○	○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○	1	
	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・文章の意味は、文脈の中で形成さ	漢文に親しむ 「故事二編」 構成や展開について考える 文章の展開を整理する 「十八史略」 人物の特徴を捉える		○	○	○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むた	○	○	○
定期考査						○	○	1		
合計										
70										

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：2年次論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：折井 （2組：織田 （3組：折井 ）（4組：織田 （5組：折井 6組：織田

使用教科書：（三省堂 新 論理国語 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	<b>【知識及び技能】</b> 言葉の特徴や使い方 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 情報の扱い方 ・主張とその前提や反証など情報と	1 論点を整理するために ●論点を明確にする 「若者に友達プレッシャー」 ●要旨を把握する 「自分を捉え直す」			○ ○	<b>【知識・技能】</b> ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	<b>【知識及び技能】</b> 言葉の特徴や使い方 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 情報の扱い方 ・情報を重要度や抽象度などによ	2 正しく推論するために ●主張を支える根拠を捉える 「一人で爆笑」 ●データを整理し書き手の意図を捉える 「カタカナ語は享受すべきか」			○ ○	<b>【知識・技能】</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。	○	○	○	12
定期考査							○	○		1
2 学 期	<b>【知識及び技能】</b> 言葉の特徴や使い方 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 情報の扱い方 ・推論の仕方について理解を深め使	3 事例の意味を探るために ●主張を支える 「それぞれのしっくりくる言葉」 ●事例を吟味する事例の役割と意味を捉える 「多様な視点から考える」			○ ○	<b>【知識・技能】</b> ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	<b>【知識及び技能】</b> 言葉の特徴や使い方 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 ・推論の仕方について理解を深め使	4 構成を吟味し説得力を高めるために ●文章や論理の構成を捉える 「落語の中の経済学」 ●書き手の意図を捉える 「ホンモノのおカネの作り方」			○ ○	<b>【知識・技能】</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 <b>【思考・判断・表現】</b>	○	○	○	12

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～ 6組

教科担当者：（1組：土井） （2組：織田） （3組：織田） （4組：山下） （5組：土井） （6組：山下）

使用教科書：（三省堂「新論理国語」）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話	聞	書	読						
A 具体と抽象の関係を理解するために 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 読む 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。 書く 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。	具体と抽象の関係を理解するために ●文章の信頼性と妥当性を吟味し内容を解釈する。 「人類による環境への影響」 ●多様な論点を結びつける 「この十年をどう生きるのか」 ● ●考えを相対化する。 「説得力のある文章を書く」			○	○	A具体と抽象の関係を理解するために 【知識および技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 読む 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 書く 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。					16
定期考査 B 批評をするために 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立方や接続の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 読む 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。 書く 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」	批評をするために ●批評する 「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」 ●批判的に検討する。 「言語ゲームと哲学的態度」 ●書き手の立場や目的を考える。 「日本マンガのブルーオーシャン戦略」 ●論理の明晰さを確かめる 「報告文を書く」			○	○	B 批評をするために 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 読む 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 書く 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」					16
定期考査							○	○		1	
C 情報を関連付け自分の解釈を形成するために 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】	・情報を関連付け自分の解釈を形成するために ●必要な情報を関係付ける 「学びとは何か」 ●考えを広げたり深めたりする					C 情報を関連付け自分の解釈を形成するために 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】					

1学期

	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>読む 人間、社会。自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。</p> <p>書く 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」</li> </ul>	<p>「『知る』ということ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容の解釈を深める 「文系と理系の壁はあるか」</li> <li>● 学びを深める 「多様な知識の組み合わせ」</li> <li>● 主張が的確に伝わるか吟味し修正する。 「自己推薦文を書く」</li> </ul>			<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>読む 人間、社会。自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>書く 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」</li> </ul>					17	
	<p>定期考査</p> <p>D 解釈を広げたり深めたりするためには</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>読む 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること</p> <p>書く 多面的・多角的な視点から自分の考え方を見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」</li> </ul>	<p>・ 解釈を広げたり深めたりするためには</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 考えを広げたり深めたりする。 「科学には限界があるか」</li> <li>● 自分の考えを捉え直す 「未来のありか」</li> <li>● 新たな観点から自分の考えを深める 「リスク社会論」</li> <li>● 学習をいかして書く 「卒業論文を書く」</li> </ul>				<p>D 解釈を広げたり深めたりするためには</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>読む 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深められている。</p> <p>書く 多面的・多角的な視点から自分の考え方を見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」</li> </ul>					17
2 学期	<p>定期考査</p> <p>E テーマを深めるために</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>読む 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>書く 多面的・多角的な視点から自分の考え方を見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」</li> </ul>	<p>E テーマを深めるために</p> <p>探究の視点「認識と実践」</p>				<p>E テーマを深めるために</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>読む 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めている。</p> <p>書く 多面的・多角的な視点から自分の考え方を見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」</li> </ul>					1
3 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>言葉の特徴や使い方 オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 情報 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>書く ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。</p> <p>◆ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単語テスト</li> <li>・ 入試問題演習</li> </ul>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。</li> <li>・ 推論の仕方を理解し使っている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul>					14



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地歴公民科 科目 地理総合

教科：地歴公民科 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：栗原） （2組：栗原） （3組：栗原） （4組：山中） （5組：山中） （6組：山中）

使用教科書： 高校生の地理総合 帝国書院、標準高等地図 帝国書院

教科 地歴公民科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力やそれらをもとに議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史にかかわる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理にかかわる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や防災への取り組みなどを理解するとともに調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して概念などを考察したり議論したりする力を養う。	地理にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域を尊重することの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A単元 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 【知識及び技能】 日本や世界に関わる地理情報について、地図、諸資料及び諸技術等を活用しながら理解させる 【思考力・判断力・表現力】 日本や世界の諸問題について「問い」を立て、改善解決に向けて考察した結果を適切に表現させる 【学びに向かう力、人間性等】 自身で又は他者とのペア、グループの学習をとおして課題に向き合わせる	①地球儀と地図の活用 ②緯度経度、時差 ③地理情報システム ④国家間の結びつき ⑤観光	【知識及び技能】 日本や世界の諸問題について、地図、諸資料及び諸技術等を活用しながら理解している 【思考力・判断力・表現力】 日本や世界の諸問題について「問い」を立て、改善解決に向けて考察した結果を適切に表現している 【学びに向かう力、人間性等】 自身で又は他者とのペア、グループの学習をとおして課題に向き合っている	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	B単元 世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】世界の大山脈や大平原が、なぜそこに、どのようにできてきたのかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】世界の大山脈や大平原の形成過程や、それらの地形が人々の生活にどのような影響を与えているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】大規模な地形が人々の生活に影響を与えている様子について、恩恵となる部分を踏まえながら主体的に追究し、課題を見いだしている。	1 生活と地形の関わり 2 河川がつくる地形と人々の生活 3 海岸の地形と人々の生活 4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	【知識及び技能】 狭まる境界と広がる境界の違いが理解できているか。 【思考力・判断力・表現力】 地形の特徴と人々の暮らしを結び付けてその影響を説明できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 その地形がある場所に住むと仮定した際に必要な対策を考えられているか。	○	○	○	7
	C単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 それぞれの地域がどの気候区分に属しているかを理解できる。 【思考力・判断力・表現力】 気候の特徴と人々の暮らしを結び付けてその影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 その気候の場所に住むと仮定した際に必要な対策を考えられる。	1 生活と気候の関わり 2 熱帯の気候と人々の生活 3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	【知識及び技能】 それぞれの地域がどの気候区分に属しているかを理解できているか。 【思考力・判断力・表現力】 気候の特徴と人々の暮らしを結び付けてその影響を説明できているか。 ○ ○ 【学びに向かう力、人間性等】 その気候の場所に住むと仮定した際に必要な対策を考えられているか。	○	○	○	7
定期考査				○	○		1



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組～6組：宮本）

使用教科書：（詳述歴史総合 新訂版（実教出版））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>・歴史の扉 第1章 近代化への胎動</p> <p>【知識及び技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。</p> <p>【主体的に取り組む態度】 科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとする。</p>	<p>・指導事項 A歴史の扉 17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 B大衆化 1. ヨーロッパの海外進出と市民社会 2. 清の繁栄 3. 江戸時代の社会と生活 琉球と蝦夷地 4. 東アジア諸国間の貿易</p>	<p>【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成近代化と私たち</p> <p>【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現力】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>・指導事項 5. イギリス産業革命 6. アメリカ独立革命 7. フランス革命とナポレオン 8. ウィーン体制 9. 1848年の革命 10. イタリア・ドイツの統一 11. 東方問題と19世紀のロシア 12. アメリカの発展と分裂 13. 世界市場の形成</p>	<p>【知識・技能】 ・産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1
<p>1学期 第3章 アジアの変容と日本の近代化</p> <p>【知識及び技能】 ・日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連付けて、</p>	<p>・指導事項 15. イスラーム世界の改革と再編 16. 南アジア・東南アジアの改革と再編 17. アヘン戦争の衝撃 18. ゆらぐ幕藩体制 19. 開国</p>	<p>【知識・技能】 ・日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連付けて、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・アメリカの領土拡大の過程とその影響を考え</p>				

<p>立憲体制と国民国家の形成を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>20. 幕末政局と社会変動 21. 新政府の成立と諸改革 22. 富国強兵と文明開化 23. 近代的な国際関係と国境・領土の画定 24. 自由民権運動の高まり 25. 立憲国家の成立</p>	<p>る。</p> <p>・ 奴隷制の廃止の過程とその影響を考える。 ・ 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ よりよい社会の実現を視野に、南北戦争と奴隷制の廃止について学習したことを現在の人種差別問題の解決に生かそうとしている。 ・ 19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	6
<p>第4章 帝国主義の時代</p> <p>【知識及び技能】 ・ 19世紀末～20世紀にかけてのアジア・ヨーロッパ諸国の動きに注目し、帝国主義の時代の成立とアジアの変動について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・ 欧米諸国のアジア・アフリカへの進出と植民地化による影響に着目するとともに、アジア諸国の激動がヨーロッパ諸国に及ぼした影響を多面的・多角的に考察させ、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 19世紀末のアジア・ヨーロッパの情勢と歴史の変化に関わる諸事象について、自ら考え追求しようとしている。</p>	<p>・ 指導事項 第4章帝国主義の時代 26. 帝国主義と世界分割 27. 帝国主義期の欧米諸国 28. 条約改正 29. 日清戦争 30. 日露戦争から韓国併合へ 31. 日本の産業革命と社会問題 32. アジア諸民族の独立運動・立憲運動</p>	<p>【知識・技能】 ・ 大政奉還、王政復古までの政局と社会の動きについてまとめることができる。帝国主義の時代に諸国がどのように強くなり、世界分割を始めたのかを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の近代化と諸外国の近代化の共通点と相違点についてまとめることができる。日本と諸外国の結びつきについて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 幕末の脱藩士や草莽の志士の活動と、明治以降の制度改革とのつながり、20世紀を迎える前の世界情勢について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>第5章 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>【知識及び技能】 ・ 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。</p> <p>・ 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・ 19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さを知る。</p>	<p>・ 指導事項 33. 緊迫する国際関係 34. 第一次世界大戦 35. ロシア革命とシベリア出兵 36. 大戦景気と米騒動 37. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 38. 西アジア・南アジアの民族運動 39. 東アジア・東南アジアの民族運動 40. 戦間期の欧米 41. ひろがる社会運動と普通選挙の実現 42. 政党内閣の時代</p>	<p>【知識・技能】 ・ 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>・ 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・ 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 1910～1920年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	14
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>第6章 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解させる。</p>	<p>・ 指導事項 43. 世界恐慌 44. ファシズムの時代 45. 満洲事変と軍部の台頭 46. 日中戦争</p>	<p>【知識・技能】 ・ 年表を活用して、連合国による日本の占領初期の改革について、まとめることができる。</p> <p>・ 冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、</p>				

2 学 期	<p>・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>47. 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争</p> <p>48. 戦争と民衆</p> <p>49. 敗戦</p> <p>50. 国際連合と戦後世界</p> <p>51. 戦後と占領の始まり</p> <p>52. 民主化と日本国憲法</p> <p>53. 冷戦の開始</p> <p>54. 朝鮮戦争と日本国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</p>	<p>感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p> <p>・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	<p>第7章 冷戦と脱植民地化</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・1950～1970年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>・指導事項</p> <p>55. 冷戦対立の推移</p> <p>56. 植民地の独立と第三世界の出現</p> <p>57. 米ソ両陣営の動揺</p> <p>58. 日本の国際社会復帰と高度経済成長</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・1950～1970年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	7

3 学 期	<p>第8章 多極化する世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>1970～80年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>・指導事項</p> <p>59. 石油危機と世界経済</p> <p>60. 緊張緩和から冷戦の終結へ</p> <p>61. 地域協力の進展</p> <p>62. 日本の経済大国化</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>1970～80年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	6	
	定期考査			○	○	○	1	
							合計	70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地歴公民科 科目 日本史探究

教科：地歴公民科 科目：日本史探究 単位数：3 単位  
 対象学年組：第2学年 1組～6組  
 教科担当者：（1組：野口）（2組：宮本）（3組：野口）（4組：野口）（5組：野口）（6組：宮本）  
 使用教科書：（日本史探究高校日本史（山川出版社） 図説 日本史通覧（帝国書院））

教科 地歴公民科 の目標：  
**【知識及び技能】** 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○原始・古代の日本と東アジア ○古墳とヤマト政権 <b>【知識・技能】</b> 水稲耕作や金属器の伝来が日本列島の社会に与えた影響を理解し、発掘調査成果から得られる情報を収集して読み取る技能を身に付ける。 <b>【思考・判断・表現】</b> 「クニ」の形成から邪馬台国などの小国の連合について、遺跡・遺物や「魏志」倭人伝などの文献資料から多角的に考察した結果を、根拠を示して表現する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 日本列島における農耕社会の特色とともに、国家形成につながる社会の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにする。	・ガイダンス ・文化の始まり ・農耕の開始 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	<b>【知識・技能】</b> 水稲耕作や金属器の伝来が日本列島の社会に与えた影響を理解し、発掘調査成果から得られる情報を収集して読み取る技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 「クニ」の形成から邪馬台国などの小国の連合について、遺跡・遺物や「魏志」倭人伝などの文献資料から多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 日本列島における農耕社会の特色とともに、国家形成につながる社会の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	10
	○律令国家の形成 ○貴族政治の展開 <b>【知識及び技能】</b> 平城京における律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 文献資料をもとに、諸勢力の対立と土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 平城京における政治史の流れに着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究する。	・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容 ・撰閣政治 ・国風文化 ・荘園の発達と武士団の成長	<b>【知識・技能】</b> 平城京における律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 文献資料をもとに、諸勢力の対立と土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 平城京における政治史の流れに着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査				○	○	
	○院政と武士の進出 ○武家政権の成立 <b>【知識及び技能】</b> 院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開、文化が庶民や地方に広まったことなどについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武家政権の成立について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b>	・院政の始まり ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立と展開 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	<b>【知識・技能】</b> 院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開、文化が庶民や地方に広まったことなどについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武家政権の成立について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b>				

<p>取り、武家政権の成立について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的の力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究する。</p>		<p>武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的の力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>○武家社会の成長</p> <p>【知識及び技能】 諸資料から守護大名と戦国大名の相違点などの情報を読み取り、戦国大名の領国統治の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 堺や博多などの都市の発展と、それを支えた商人などの活動について多面的・多角的に考察し、戦国時代の地域の多様性を考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 15～16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室町幕府の成立</li> <li>・下剋上の社会</li> <li>・室町文化</li> <li>・戦国の動乱</li> </ul>	<p>【知識・技能】 諸資料から守護大名と戦国大名の相違点などの情報を読み取り、戦国大名の領国統治の特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 堺や博多などの都市の発展と、それを支えた商人などの活動について多面的・多角的に考察し、戦国時代の地域の多様性を考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 15～16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>○近世の幕開け</p> <p>○幕藩体制の成立と展開</p> <p>【知識及び技能】 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察して、幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 織豊政権と幕藩体制の社会の仕組みを比較・考察しながら、幕藩体制が確立する画期について、主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天下人の登場</li> <li>・豊臣政権と桃山文化</li> <li>・江戸幕府の成立</li> <li>・江戸初期の外交と文化</li> <li>・幕政の安定</li> <li>・経済の発展</li> <li>・元禄文化</li> </ul>	<p>【知識・技能】 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察して、幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 織豊政権と幕藩体制の社会の仕組みを比較・考察しながら、幕藩体制が確立する画期について、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>○幕藩体制の動揺</p> <p>【知識及び技能】 列強の接近にもなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際情勢の変化と影響などに着目して、幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開国とその影響</li> <li>・幕府の滅亡と新政府の発足</li> <li>・明治維新</li> <li>・立憲国家の成立</li> </ul>	<p>【知識・技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>2 学 期</p> <p>○院政と武士の進出</p> <p>○武家政権の成立</p> <p>【知識及び技能】 院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開、文化が庶民や地方に広まったことなどについて、諸資料から様々な情報を読み取り、理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院政の始まり</li> <li>・院政と平氏政権</li> <li>・鎌倉幕府の成立と展開</li> <li>・モンゴル襲来と幕府の衰退</li> <li>・鎌倉文化</li> </ul>	<p>【知識・技能】 院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開、文化が庶民や地方に広まったことなどについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武家政権の成立について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>				

<p>取り、武家政権の成立について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】  武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】  古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究する。</p>		<p>武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】  古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	---	---	----

	<p>○武家社会の成長 【知識及び技能】 諸資料から守護大名と戦国大名の相違点などの情報を読み取り、戦国大名の領国統治の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 堺や博多などの都市の発展と、それを支えた商人などの活動について多面的・多角的に考察し、戦国時代の地域の多様性を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 15～16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室町幕府の成立</li> <li>・下剋上の社会</li> <li>・室町文化</li> <li>・戦国の動乱</li> </ul>	<p>【知識・技能】 諸資料から守護大名と戦国大名の相違点などの情報を読み取り、戦国大名の領国統治の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 堺や博多などの都市の発展と、それを支えた商人などの活動について多面的・多角的に考察し、戦国時代の地域の多様性を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 15～16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	<p>○恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関する諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恐慌の時代</li> <li>・軍部の台頭</li> <li>・第二次世界大戦</li> </ul>	<p>【知識・技能】 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関する諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>○現代の世界と日本 【知識及び技能】 世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったこと、冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因や、国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・占領下の改革と主権の回復</li> <li>・55年体制と高度経済成長</li> <li>・現代の情勢</li> </ul>	<p>【知識・技能】 世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったこと、冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 【思考・判断・表現】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因や、国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	○1年間の日本史探究の学びをふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも「問い」を立ていくために、どのような視点が大切なのか考える。</li> </ul>				○	2
							合計
							105

3  
学  
期

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学I

教科： 数学 科目： 数学I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： (1組：高田・吉岡) (2組：今関・石田) (3組：平野・佐々木) (4組：高田・吉岡) (5組：今関・石田) (6組：平野・佐々木)  
 使用教科書： ( 数研出版 高等学校 数学I )

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 降べきの順に整理したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 式の計算を簡略化することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 式の変形、整理など、よりよい方法を考察させる。	・多項式の加法と減法 ・多項式の乗法 ・因数分解	【知識・技能】 同類項をまとめたり、降べきの順に整理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 式を1つの文字におき換え、式の計算を簡略化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の変形、整理など、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 分数を循環小数で表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 対称式の値の求め方を考察させる。	・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 循環小数を表す記号を用いて、分数を循環小数で表すことができる。 【思考・判断・表現】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対称式の値の求め方に興味を示し、自ら考察しようとする。	○	○	○	7
	C 単元 【知識及び技能】 1次不等式を解くことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 絶対値記号をはずす処理ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察させる。	・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式	【知識・技能】 不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察しようとする。	○	○	○	7
D 単元 【知識及び技能】 2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ベン図などを用いて、考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 命題と集合との関係について、積極的に理解させる。	・集合 ・命題と条件 ・命題と証明	【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。また、2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができる。 【思考・判断・表現】 ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 命題と条件の違いや、命題と集合との関係について、積極的に理解しようとする。	○	○	○	7	
定期考査				○	○		1
A 単元 2次関数とグラフ 【知識及び技能】 2次式を平方完成した形に変形できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線の平行移動について考察させる。	・関数とグラフ ・2次関数のグラフ	【知識及び技能】 2次式を平方完成した形に変形できる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。	○	○	○	10	
B 単元 2次関数の値と変化 【知識及び技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解させる。	・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定	【知識・技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 【思考・判断・表現】					

2 学 期	<p>【思考力、判断力、表現力等】 定義域が変化するときの最大値や最小値について、考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の決定条件について考察させる。</p>		<p>定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数の決定条件に興味、関心を持ち、考察しようとする。</p>	○	○	○	9
	<p>定期考査</p> <p>C 単元 2次方程式と2次不等式 【知識及び技能】 2次方程式の解き方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフとx軸の位置関係について理解させる。</p>	<p>・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式</p>	<p>【知識・技能】 2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする。</p>	○	○	○	17
	<p>定期考査</p>			○	○		1
3 学 期	<p>A 単元 三角比 【知識及び技能】 正弦、余弦、正接が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係を考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 <math>\theta</math>を求める際に、図を積極的に利用させる。</p>	<p>・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張</p>	<p>【知識・技能】 直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 【思考・判断・表現】 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比が与えられたときの<math>\theta</math>を求める際に、図を積極的に利用しようとする。</p>	○	○	○	10
	<p>B 単元 三角比への応用 【知識及び技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 辺の長さや角の大きさと余弦定理との関係を考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の内接円と面積の関係を理解させる。度数分布表、ヒストグラムについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察させる。</p>	<p>・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積 ・空間図形への応用</p>	<p>【知識及び技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の辺の長さや角の大きさと余弦定理との関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。</p>	○	○	○	13
	<p>C 単元 データの分析 【知識及び技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察させる。</p>	<p>・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変数の間の関係 ・仮説検定の考え方</p>	<p>【知識・技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 【思考・判断・表現】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとする。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1	
						合計	105

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組  
 教科担当者： (1組：高田) (2組：高田) (3組：高田) (4組：吉岡) (5組：吉岡) (6組：高田)  
 使用教科書： ( 数研出版 高等学校 数学A )  
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。  
 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	個数の処理を多面的にみたり目的に応じて適切に計算したりする力、図形の性質について論理的に考察し表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 集合 【知識及び技能】 2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ベン図などを用いて、考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察させ定期考査	・集合	【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。また、2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができる。 【思考・判断・表現】 ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	○	○	○	3
				○	○		1
	B 単元 場合の数 【知識及び技能】 要素の個数を求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 条件が付く順列、円順列を処理することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 図形の個数や同じものを含む順列の総数などに興味・関心をもたせる。	・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ	【知識・技能】 和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 条件が付く順列、円順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。	○	○	○	9
	C 単元 確率 【知識及び技能】 確率の基本的性質を理解し、和事象、余事象の確率を求めることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 反復試行の確率について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもたせる。	・事象と確率 ・確率の基本的性質 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率 ・期待値	【知識・技能】 確率の基本的性質を理解し、和事象、余事象の確率の求め方がわかる。 【思考・判断・表現】 既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 平面図形 【知識及び技能】 三角形の外心、内心、重心の定義、性質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 方べきの定理について、対象とする図形に応じて見方を変えて考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 チェバの定理、メネラウスの定理に興味をもたせる。	・三角形の辺の比 ・三角形の外心・内心・重心 ・チェバの定理・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2つの円 ・作図	【知識・技能】 三角形の外心、内心、重心の定義、性質を理解している。 【思考・判断・表現】 方べきの定理について、対象とする図形に応じて見方を変えて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チェバの定理、メネラウスの定理に興味を示し、積極的に考察しようとする。	○	○	○	12
				○	○		1
	B 単元 空間図形 【知識及び技能】	・直線と平面 ・空間図形と多面体	【知識・技能】 空間における2直線の位置関係やなす角を				



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～6組  
 教科担当者：（1組：白川）（2組：白川）（3組：白川）（4組：白川）（5組：白川）（6組：白川）  
 使用教科書：（改訂 科学と人間生活 第一学習社）

教科 理科 の目標：  
 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、自らの考えを表現するなど、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、自らの考えを表現するなど、科学的に探究する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学 期	A 単元 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光の現象の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 光の現象について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と光の現象の関係を考える	・光の発生とその速さ ・教科書・プリント ・自然現象・演示実験	【知識・技能】 光の現象の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 光の現象について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の光の自然現象について理解し活用しようとしているか	○	○	○	3
	B 単元 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光の現象の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 光の現象について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と光の現象の関係を考える	・光の反射・屈折 ・教科書・プリント ・自然現象・演示実験	【知識・技能】 光の現象の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 光の現象について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の光の自然現象について理解し活用しようとしているか	○	○	○	3
	C 単元 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光の現象の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 光の現象について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と光の現象の関係を考える	・光の分散 ・教科書・プリント ・自然現象・演示実験	【知識・技能】 光の現象の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 光の現象について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の光の自然現象について理解し活用しようとしているか	○	○	○	4
	D 単元 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光の現象の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 光の現象について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と光の現象の関係を考える	・光の散乱 ・教科書・プリント ・自然現象・演示実験	【知識・技能】 光の現象の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 光の現象について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の光の自然現象について理解し活用しようとしているか	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	E 単元 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光の現象の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 光の現象について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と光の現象の関係を考える	・光の回折・干渉・偏光 ・教科書・プリント ・自然現象・演示実験	【知識・技能】 光の現象の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 光の現象について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の光の自然現象について理解し活用しようとしているか	○	○	○	5
	F 単元 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光の現象の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 光の現象について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と光の現象の関係を考える	・電磁波の種類とその利用 (1) ・教科書・プリント ・自然現象・演示実験	【知識・技能】 光の現象の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 光の現象について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の光の自然現象について理解し活用しようとしているか	○	○	○	4
	G 単元 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光の現象の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 光の現象について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と光の現象の関係を考える	・電磁波の種類とその利用 (2) ・教科書・プリント ・自然現象・演示実験	【知識・技能】 光の現象の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 光の現象について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の光の自然現象について理解し活用しようとしているか	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	A 単元 微生物とその利用 【知識及び技能】 微生物の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 微生物について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と微生物の関係を考える	・身近な微生物 ・教科書・プリント ・自然現象・映像	【知識・技能】 微生物の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 微生物について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の微生物の自然現象について理解し活用しようとしているか	○	○	○	2



3 学 期	B 単元 太陽と地球 【知識及び技能】 太陽と地球の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と太陽と地球の関係を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽系を構成する天体</li> <li>・教科書・プリント</li> <li>・自然現象・板書</li> </ul>	【知識・技能】 太陽と地球の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 太陽と地球について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の太陽と地球の自然現象について理解し活用しているか	○	○	○	2
	C 単元 太陽と地球 【知識及び技能】 太陽と地球の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と太陽と地球の関係を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽と人間生活 (1)</li> <li>・教科書・プリント</li> <li>・自然現象・板書</li> </ul>	【知識・技能】 太陽と地球の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 太陽と地球について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の太陽と地球の自然現象について理解し活用しているか	○	○	○	3
	D 単元 太陽と地球 【知識及び技能】 太陽と地球の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と太陽と地球の関係を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽と人間生活 (2)</li> <li>・教科書・プリント</li> <li>・自然現象・板書</li> </ul>	【知識・技能】 太陽と地球の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 太陽と地球について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の太陽と地球の自然現象について理解し活用しているか	○	○	○	3
	E 単元 太陽と地球 【知識及び技能】 太陽と地球の確実な知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 生活と太陽と地球の関係を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天体の動き</li> <li>・教科書・プリント</li> <li>・自然現象・板書</li> </ul>	【知識・技能】 太陽と地球の確実な知識を得ているか 【思考・判断・表現】 太陽と地球について深く考えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の太陽と地球の自然現象について理解し活用しているか	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度) 教科 理科 科目 化学基礎

教科: 理科 科目: 化学基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 6 組 第3学年選択者

教科担当者: ( 1 ~ 6 組: 鈴木 ) ( 選択: 鈴木 )

使用教科書: ( 化学基礎 [ 美教出版 ] 化基007-902 )

教科 理科 の目標:

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、観察実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に実験・観察へ取り組み、科学的に探究する姿勢を育てる。

科目 化学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な事物現象に対して興味を持ち、化学的な視点で探究する。化学の基本的な内容、法則等を学び、観察や実験によりこれらの技能を身につける。	身のまわりの事物現象の観察、基本的な化学実験などにより、化学的な力を養成する。	教材を工夫し生徒自身が主体的に取り組むような指導をおこなう。適宜実験をおこない、基本事項を確認するとともに、観察する方法等を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・純物質と混合物の性質の違いを利用して、純物質を取り出す方法の原理を理解する。 ・元素について学び、単体、化合物、同素体について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の分離、精製法がそれぞれどのような性質を利用しているかについて考える。 ・物質の状態を構成粒子の熱運動を相互作用によって考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身のまわりの物質について、その構成粒子から判断できる。	・物質の分類 ・純物質を取り出す方法 ・元素 ・単体と化合物 ・同素体 ・成分元素の検出 ・物質の三態と熱運動 ・状態変化	【知識・技能】 ・純物質の性質および混合物の性質を確認し、性質の違いを利用して純物質を取り出す方法を理解する。 ・物質を構成する基本的な成分が元素であり、元素の構成から単体と化合物に分類できる。さらに、同素体について理解するとともに、成分元素の確認法を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 【知識及び技能】 ・原子の構造を学び、構成粒子の性質や相互の関係から原子について理解する。 ・電子配置からイオンの生成について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 質量数と同位体、放射性同位体と年代測定などを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「3.11」や「自然災害への備え」などについて、考える。	・原子とその構造 ・原子の構成粒子 ・質量数 ・同位体 ・放射性同位体と半減期 ・電子配置 ・イオンの生成 ・多原子イオン ・イオン化エネルギー ・電子親和力 ・元素の周期表 ・イオン結合 ・イオン結晶	【知識・技能】 ・原子の構成粒子の性質や特徴、数の関係を学び、質量数や同位体を理解する。 ・電子配置をもとにイオンの生成について考え、さらにイオン結合へとつなげる。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	7	
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 ・共有結合の仕組みについて理解し、配位結合や電気陰性度と極性等について学ぶ。 ・金属結晶の構造や共有結合の結晶の性質など、化学結合について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 結合様式から、分子の電子式や構造式を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・原子価を利用して分子式から構造式や電子式を書き示すことができる。	・共有結合 ・分子の形成 ・電子式 ・共有電子対と非共有電子対 ・構造式 ・分子の形 ・配位結合 ・錯イオン ・分子間力と分子結晶 ・極性 ・水素結合 ・金属結合 ・金属結晶の構造	【知識・技能】 ・化学結合について学び、身のまわりの物質の構造を構造式や電子式であらわす。 ・金属の結晶格子について学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	D 単元 【知識及び技能】 ・相対質量の概念から原子量を求め、分子量、式量と展開する。 ・物質質量について学び、モル質量やモル体積から量的関係を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・分子量、式量、物質質量の計算の仕方を確認し問題演習を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質質量の計算練習を行う。 ・酸と塩基について学ぶ。	・原子量、分子量、式量 ・物質質量 ・モル質量 ・モル体積 ・物質質量と粒子の数、質量 ・物質質量と気体の体積 ・溶液の濃度 ・溶解度 ・化学反応式 ・化学反応式の量的関係 ・酸と塩基 ・酸と塩基の分類	【知識・技能】 ・原子量、分子量、式量、モル質量、モル体積、濃度、溶解度について学ぶ。 ・化学反応式が示す関係を理解する。 ・酸と塩基の性質や特徴を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	13

	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 ・中和反応が $H^+$ と $OH^-$ から水を 生じる反応であることを理解する とともに、同時に生じる塩につい ても考察する。 ・酸化剤と還元剤の反応を中心に酸 化還元反応を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中和の化学反応式を考える。 ・酸化剤と還元剤の反応を化学反 応式であらわす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中和滴定および酸化剤と還元剤 の実験を行い、それぞれ化学反応 式を基に考察する。	・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩 ・中和反応の量的関係 ・中和滴定 ・酸化と還元 ・酸化数 ・酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤の量的関係 ・金属の酸化還元 ・酸化還元反応の応用	【知識・技能】 ・中和反応について学び、中和の量的関係か ら中和滴定について理解する。 ・酸化還元反応について学び、酸化剤と還元剤の 反応について探究する。 ・金属の 反応についてイオン化傾向から判断して理解 する。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリノートを活用し て、学習内容を確認する。記載内容を発問形 式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を 求め、その記載内容を評価する。 ・適 宜チェックテストを実施する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
						合計	71

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（選択：西村）

使用教科書：（数研出版「改訂版 新編 物理基礎」）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理の基本的な内容、法則等学び、観察や実験によりこれらの技能を身につける。	身近な事物現象に対して興味を持ち、物理的な視点で探究する。また、身のまわりの事物現象の観察、基本的な物理実習などにより、科学的な思考を養う。	生徒自身が主体的に取り組むように周りの学習者と協力して学習を行う。適宜実習をおこない、基本事項を確認するとともに、観察する方法等を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 速度・等速直線運動について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 速度・等速直線運動を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 速度・等速直線運動について主体的に理解する姿勢を育む	・速度 ・等速直線運動 ・数式とグラフ ・板書 ・問題プリント ・小テスト	【知識・技能】 様々な運動の法則を理解しているか 【思考・判断・表現】 問題演習を通して公式を使用することができるか。また、物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 周りの学習者と協力して学習に取り組み、自分の学習に還元することができるか	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 加速度・等加速度直線運動について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 加速度・等加速度直線運動を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 加速度・等加速度直線運動について主体的に理解する姿勢を育む	・加速度 ・等加速度直線運動 ・数式とグラフ ・板書 ・問題プリント ・小テスト	【知識・技能】 様々な運動の法則を理解しているか 【思考・判断・表現】 問題演習を通して公式を使用することができるか。また、物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 周りの学習者と協力して学習に取り組み、自分の学習に還元することができるか	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 落体の運動について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 落体の運動を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 落体の運動について主体的に理解する姿勢を育む	・落体の運動 ・数式とグラフ ・板書 ・問題プリント ・小テスト	【知識・技能】 基本的な物体の運動が理解できているか 【思考・判断・表現】 公式を使って問題を解くことができるか。また、物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 周りの学習者と協力して学習に取り組み、自分の学習に還元することができるか	○	○	○	5
	D 単元 【知識及び技能】 力のはたらきについて理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 力のはたらきを法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 力のはたらきについて主体的に理解する姿勢を育む	・力のつり合い ・数式と図式化 ・板書 ・問題プリント ・小テスト	【知識・技能】 物体にはたらく力について理解できているか 【思考・判断・表現】 重力の大きさやフックの法則などを公式を使用し、問題を解くことができるか。また、身の回りの物体にはたらく力について図を用いてイメージすることができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 周りの学習者と協力して学習に取り組み、自分の学習に還元することができるか	○	○	○	5
定期考査			○	○		1	
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 運動の法則・摩擦力・圧力について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則・摩擦力・圧力を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 運動の法則・摩擦力・圧力について主体的に理解する姿勢を育む	・運動方程式 ・摩擦力 ・数式と図式化 ・板書 ・問題プリント ・小テスト	【知識・技能】 物体にはたらく力が加速度関わっていることについて理解できているか 【思考・判断・表現】 力の図から運動方程式を使用し、問題を解くことができるか。また、身の回りの物体にはたらく力が加速度に影響を及ぼすことについて、場面から想像することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 周りの学習者と協力して学習に取り組み、自分の学習に還元することができるか	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	B 単元	・仕事、エネルギー	【知識・技能】				



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組 選択

教科担当者：（1・3・6組：星野） （2・4・5組、選択：飯田）

使用教科書：（i版 生物基礎 啓林館）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。</li> <li>生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解すること。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>1 生物の多様性</li> <li>2 生物の共通性</li> <li>3 生物の進化と系統</li> <li>4 細胞と個体の成り立ち</li> <li>5 真核細胞の構造</li> <li>6 原核細胞の構造</li> <li>7 生命活動とエネルギー</li> <li>8 ATP の構造</li> <li>9 生体内の化学反応と酵素</li> <li>10 光合成と呼吸</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。</li> <li>単細胞生物の構造とその働き、多細胞生物の器官の働き、細胞と組織の多様性がわかる。</li> <li>細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。</li> <li>ATPが果たす役割について理解する。</li> <li>酵素反応の特徴を理解できる。</li> <li>光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物としての共通の特徴をあげることができる。多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。</li> <li>単細胞生物の構造と働き、多細胞生物の構造と働きの例をあげることができる。</li> <li>細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。</li> <li>代謝におけるエネルギーについて考えることができる。</li> <li>酵素の働きについて考えることができる。</li> <li>細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。</li> <li>単細胞生物の構造の多様性と、多細胞生物の細胞と組織の多様性に関心を持つ。</li> <li>細胞小器官の特徴と働きに注目する。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。</li> <li>ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。</li> <li>光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。</li> </ul>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1

<p>1 学 期</p>	<p>B 単元 【知識及び技能】 ・DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。 ・遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 11 生物と遺伝情報 12 DNAの構造と遺伝情報 13 DNA複製 14 DNAと染色体 15 細胞周期とDNAの分配 16 細胞周期とDNA量の変化 17 遺伝子発現とタンパク質 18 転写と翻訳 19 遺伝暗号表 20 遺伝子発現と維持</p> <p>・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。</p>	<p>【知識・技能】 ・DNAの抽出について理解する。 ・遺伝情報の複製は塩基配列の相補的な複製であることが理解できる。 ・細胞周期と体細胞分裂の各期の特徴が分かり、遺伝情報の分配の時期がわかる。 ・塩基配列と遺伝情報の関係と、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。 ・転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が転写されたmRNAの役割を理解することができる。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。 ・遺伝情報はほとんどの細胞で維持されているが、遺伝子の発現は調節されていることがわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・DNAの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。 ・母細胞のDNAの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。 ・細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。 ・DNAの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。 ・遺伝情報である塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 ・個体を構成する細胞は遺伝的に同一で、部位によって発現する遺伝子が異なると考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること、DNAの特徴について関心をもち考えようとする。 ・DNAが複製されることにより、遺伝情報が伝えられることを調べようとする。 ・体細胞分裂と細胞周期が染色体の変化によって観察できることに関心を持つ。 ・タンパク質について感心をもつ。 ・RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。 ・遺伝情報をゲノムととらえることに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的課題にも関心を持つ。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ・体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解すること。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 21 恒常性と体液 22 血液凝固と線溶 23 恒常性に関わる神経系 24 自律神経系と脳死 25 ホルモンによる調節 26 ホルモン分泌の調節 27 血糖濃度の変化と糖尿病 28 血糖濃度の調節のしくみ 29 体温と水分量の調節 ・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。	【知識・技能】 ・体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液（血液・リンパ液・組織液）の成分や働き、循環系を理解する。 ・心拍は自律神経によってもアドレナリンというホルモンによっても調節を受けていることを理解する。 ・特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞に働く。ホルモン量はフィードバック調節されている。 ・血糖濃度とインスリン濃度のグラフからインスリンの効果を読みとることができる。 ・体温調節には、肝臓や筋肉汗腺が重要な働きをしていることがわかる。水分調節はバソプレシジンや、鉱質コルチコイドの作用により水が再吸収されることがわかる。 【思考・判断・表現】 ・生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働き（酸素解離や血液凝固など）を考えることができる。 ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 ・ホルモンにより器官の活動が調節されており、その量はフィードバック調節されている。 ・血糖濃度や水分量、体温が、自律神経の働きやホルモンの作用により一定の範囲に保たれていると考えることができる。 ・体液の恒常性における肝臓や腎臓の働きを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液の働き、循環に興味を持つ。 ・体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。 ・多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに興味を持つ。 ・自律神経とホルモンが共同して恒常性を維持していることに興味を持つ。 ・肝臓や腎臓の機能に関心を持ち、体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。					12
	定期考査				○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】 ・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 30 生体防御の概要 31 異物の侵入を阻止するしくみ 32 自然免疫のしくみ 33 獲得免疫の概要 34 細胞性免疫と体液性免疫 35 抗体とその利用 36 免疫記憶とその利用 37 免疫と病気① 38 免疫と病気② ・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。	【知識・技能】 ・生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 ・微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。 ・免疫寛容に関係するリンパ球の選択を理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。 ・予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。 【思考・判断・表現】 ・マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。 ・自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。 ・体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 ・アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。 ・細菌などを食作用で除く生体防御反応である。 ・免疫のしくみに興味を持つ。 ・予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。					12
定期考査				○	○		1	

3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 ・植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解すること。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解すること。また、生物の種多様性と生物間の関係性を関連付けて理解する。 ・生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪かく乱を関連付けて理解すること。また、生態系の保全の重要性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現する 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 39 環境と生物 40 光の強さと植物 41 森林の階層構造と土壌 42 遷移の過程 43 遷移に伴う環境の変化 44 遷移と世界のバイオーム 45 日本のバイオーム 46 生態系における生物の役割 47 種の多様性と食物連鎖 48 生態系と生態ピラミッド 49 キーストーン種と絶滅 50 生態系のバランスと変動 51 人間活動と生態系 52 生物濃縮 53 外来生物 54 生物多様性と生態系の保全 55 生態系と人間生活 ・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。	【知識・技能】 ・植物の形態に環境への適応が現れる例があり、光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 ・植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度、土壌の厚さ、土壌有機物%などの変化をグラフ化し、読みとることができる。 ・気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 ・水平分布、垂直分布がわかる。 ・生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 ・キーストーン種について理解できる。 ・生物多様性を保全することの重要性がわかる。 【思考・判断・表現】 ・植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光がある。 ・荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察する。 ・バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 ・バイオームが成立する際の環境要因と日本の地理的な関係がわかる。 ・生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。 ・間接効果について考えることができる。 ・生態系を保全することが重要であると考えられることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する意欲を持つ。 ・植生の変化に注目し、その要因に関心を持つ。 ・世界のバイオームの特色に関心を持つ。 ・生態系をどのように把握できるか関心を持っていく。 ・ヒトデを除去すると、生態系を構成する生物の種数が変化することに関心をもち生態系について理解しようとする。 ・環境問題などについて関心をもっている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1 合計 70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：大房・叶井・望月）（2組：大房・叶井・望月）（3組：大房・叶井・望月）（4組：大房・叶井・望月）（5組：大房・叶井・望月）（6組：大房・叶井・望月）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店） 2

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。 跳躍・投てきでは、技術的要素を身につけ、記録を向上できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①短距離・リレー ②長距離 ③投てき</p>	<p>【知識・技能】 ①技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。 ②自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。</p>	○	○	○	9
<p>B 単元</p> <p>【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ</p> <p>①体ほぐし運動 ②筋力を高める運動 ③体育祭練習</p>	<p>【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールを形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームブル）で進むことができる。 ②手の入水時のキック、かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ③選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ①水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>A 単元</p> <p>体づくり</p> <p>【知識及び技能】 ①体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 ②実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決</p>		<p>知識・技能】 ①定期的、計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。 ②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。</p>	○			

1  
学  
期

<p>に向けて運動の取り組み方を上天するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>		<p>【字びに向かう力、人間性】 ①体づくり運動の学習に主体的に取り組むことができる。 ②仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうことができる。</p>				
<p>A バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>A サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム</p> <p>①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。 ②バスケットボールで高まる体力を理解している。 ③バスケットボールでの体力の高め方を理解している。 ④技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。 ⑤技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。 ⑥安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。 ②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。 ②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。 ③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>【知識・技能】 ①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイント理解している。 ②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイント理解している。 ③ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。 ④ゴールの枠内にシュートをコントロールできる。 ⑤味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることができる。 ②チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組むことができる ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントで</p>	<p>○ ○ ○</p>		<p>18</p>	
<p>A ラケット種目(テニス・卓球・バドミントン) 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を</p>	<p>①ストローク ②ボレー ③スマッシュ ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその</p>				

	<p>元とし、日常的な生活に切りかえ運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについて話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>理由を仲間に伝えることができる。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	18	
3 学 期	<p>A 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	①長距離走	<p>【知識・技能】</p> <p>①技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。</p> <p>②リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができることを理解している。②呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れ走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。</p> <p>②自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p> <p>②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることができる。</p>	○	○	○	9
	<p>A 体育理論</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	① ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ②ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	<p>【知識・技能】</p> <p>①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとすることができる。</p>	○	○	○	7
							合計
							70







高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：棟方・大原・叶井・高岡）（2組：棟方・大原・叶井・高岡）（3組：棟方・大原・叶井・望月）（4組：棟方・大原・叶井・望月）（5組：棟方・大原・大野・望月）（6組：棟方・大原・大野・望月）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もう

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 体づくり 【知識及び技能】 ①体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 ②実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①体ほぐし運動 ②筋力を高める運動 ③体育祭練習</p>	<p>知識・技能】 ①定期的、計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。 ②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。 【思考・判断・表現】 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①体づくり運動の学習に主体的に取り組むことができる。 ②仲間課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合うことができる。</p>	○	○	○	9
<p>B 単元 【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>B 単元 【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキールホルの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームプル）で進むことができる。 ②手の入水時のキック、かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ③選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性】 ①水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	9

2 学期	<p>A バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについて話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p> <p>A アルティメット</p> <p>【知識及び技能】 安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについて話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①パス ②トス ③スパイク ④ゲーム</p> <p>①パス ②キャッチ ③フォーメーション ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。</p> <p>②バレーボールで高まる体力を理解している。</p> <p>③バレーボールでの体力の高め方を理解している。</p> <p>④技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。</p> <p>⑤技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。</p> <p>⑥安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。</p> <p>②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。</p> <p>②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。</p> <p>③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。</p> <p>②アルティメットで高まる体力を理解している。</p> <p>③アルティメットでの体力の高め方を理解している。</p> <p>④技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。</p> <p>⑤技術の名称や行い方を理解し、安定したディスク操作で攻防することができる。</p> <p>⑥安定したディスク操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。</p> <p>②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。</p> <p>②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。</p> <p>③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>A テニス</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについて話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①ストローク ②ボレー ③スマッシュ ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。</p> <p>②ボールをねらった場所に投げることができる。</p> <p>③打ち返したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>				

	<p>A 卓球</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サーブでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	18
3 学 期	<p>A 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p>	①長距離走	<p>【知識・技能】 ①技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。 ②リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができることを理解している。②呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れ走ることが</p>	○	○	○	9
	<p>A 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>① ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ②ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が</p>	○	○	○	7
							合計
							70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1・2組：大原 3・4組：大房 5・6組：高岡）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識・技能】</p> <p>日本における健康課題の変遷 健康の考え方と成り立ち ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 健康に関する意思決定・行動選択 現代における感染症の問題 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解している。 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解している。 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解している。このことを、疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p> <p>国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>【知識・技能】</p> <p>がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6



<p><b>【知識・技能】</b> 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解する。 また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解する。 コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解する。また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 喫煙、飲酒の健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 喫煙、飲酒と健康 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解している。 また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解している。 薬物乱用と健康 コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解している。 また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 喫煙、飲酒の健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
<p><b>【知識・技能】</b> 精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解する。 心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解する。 人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどを理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を</p>	<p>精神疾患の特徴 精神疾患への対応</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解している。 心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解している。 自殺の背景にはうつ病をはじめとする精神疾患が存在することもあることを理解している。 人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどを理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策</p>	○	○	○	6

	<p>保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の特徴、精神疾患への対処について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>を整理することができる。</p> <p>現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の特徴、精神疾患への対処について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>					
3 学 期	<p>【知識・技能】 事故の現状と発生要因 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通安全について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>事故の現状と発生要因 交通事故防止の取り組み 安全な社会の形成</p>	<p>【知識・技能】 事故の現状と発生要因 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解している。</p> <p>安全な社会の形成 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることを理解している。</p> <p>交通安全 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解できるようにする。また、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p> <p>安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し</p>	○	○	○	6
	<p>【知識・技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解する。 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解する。 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>応急手当の意義と救急医療体制 心肺蘇生法 日常的な応急手当</p>	<p>【知識・技能】 応急手当の意義 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解している。 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることを理解している。</p> <p>日常的な応急手当 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解している。 実際に応急手当ができる。</p> <p>心肺蘇生法 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解している。</p> <p>AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	○	○	○	6
							合計
							36

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位  
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組  
 教科担当者：（1 組：棟方） （2 組：叶井） （3 組：棟方） （4 組：望月） （5 組：望月） （6 組：叶井）  
 使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：  
**【知識及び技能】** 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
<b>【知識・技能】</b> 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。	思春期と健康生活 性意識と性行動の選択 妊娠、出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	<b>【知識・技能】</b> 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。	○	○	○	13
<b>【知識・技能】</b> 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど知識を身に付ける。 <b>【思考・判断・表現】</b> 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考えさせる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考える態度を養う。	現代社会と健康 生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	<b>【知識・技能】</b> 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど知識を身に付ける。 <b>【思考・判断・表現】</b> 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考えさせる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考える態度を養う。	○	○	○	12
<b>【知識・技能】</b> 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。	中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 大気汚染と健康 保健サービスとその活用	<b>【知識・技能】</b> 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。				10

3 学期	<p>く分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。</p>	<p>考え方を踏まえて整理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。</p>	○	○	○	
						合計
						35

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 体育 科目 体育

教科： 体育

科目： 体育

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：高岡・棟方・望月・大原） （2組：高岡・棟方・望月・大原） （3組：高岡・棟方・望月・大原） （4組：高岡・棟方・望月・大原） （5組：高岡・大原・望月） （6組：高岡・大原・望月）

使用教科書： （現代高等保健体育）

教科 体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 体づくり 【知識及び技能】 ①体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自立的に関わり合うことができるようにする。 ②実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①体ほぐし運動 ②筋力を高める運動 ③体育祭練習</p>	<p>【知識・技能】 ①定期的、計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。 ②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。 【思考・判断・表現】 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①体づくり運動の学習に主体的に取り組むことができる。 ②仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合うことができる。</p>	○	○	○	18
<p>B 単元 【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ</p>	<p>【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキールホルムの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームプル）で進むことができる。 ②手の入水時のキック、かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ③選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性】 ①水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	18

<p>c バドミントン・テニス・卓球</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>バドミントン</p> <p>①ドライブ ②ヘアピン ③スマッシュ ④ゲーム</p> <p>卓球</p> <p>①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム</p> <p>卓球</p> <p>①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。</p> <p>②技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。</p> <p>③技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。</p> <p>④安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。</p> <p>②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。</p> <p>②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。</p> <p>③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	18
<p>A バレーボール・バスケットボール・卓球</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>バレーボール</p> <p>①パス ②トス ③スパイク</p> <p>バスケットボール</p> <p>④ゲーム ①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム</p> <p>卓球</p> <p>①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。</p> <p>②技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。</p> <p>③技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。</p> <p>④安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。</p> <p>②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。</p> <p>②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。</p> <p>③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	18
<p>2 学期</p> <p>A バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>サッカー</p> <p>①パス ②シュート ③ゲーム</p> <p>ソフトバレー</p> <p>①パス ②レシーブ ③スパイク</p> <p>ソフトボール</p> <p>①スローイング ②キャッチ ③バッティング ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。</p> <p>②技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。</p> <p>③技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。</p> <p>④安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。</p> <p>②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。</p> <p>②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。</p> <p>③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	18

3 学 期	<p>A 体育理論</p> <p><b>【知識及び技能】</b>          スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>① ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方</p> <p>② ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方</p> <p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>① スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>① スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性】</b></p> <p>① 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとすることができる。</p>	○	○	○	15
							合計
							105

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組 音楽選択者  
 教科担当者： (1.2組：本田) (3.4組：本田) (5.6組：本田) (組： ) (組： ) (組： )  
 使用教科書： ( MOUSA 1 教育芸術社 )

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 音楽の文化的・歴史的背景などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

科目 音楽 I	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	記 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 独唱 【知識及び技能】 曲唱と歌詞との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組む。	①校歌 ②花は咲く	○		○	【知識及び技能】 曲唱と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組もうとしている。		○	○	○	10
	B ギター独奏口 【知識及び技能】 曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色や和音の響きを知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に関心をもち、主体的・協動的に器楽の活動に取り組む。	①キラキラ星 ②ぶんぶんぶん ③ハッピーバースディ		○	○	【知識及び技能】 曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色や和音の響きを知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に関心をもち、主体的・協動的に器楽の活動に取り組んでいる。		○	○	○	14
	C ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムと旋律の関係を知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協動的に歌唱や鑑賞の活動に取り組む。	ミュージカル映画 「天使にラブソングを1」			○	【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての表現方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムと旋律の関係を知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴をとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協動的に歌唱や鑑賞の活動に取り組もうとしている。		○	○	○	2
D 世界の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身に付けている。	①'0 sole mio ②Heidenröslein ③おお シャンゼリゼ ④茉莉花				D 世界の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身に付けている。						

2 学 期	どの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や歌詞と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の歌曲に興味関心をもち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱活動に取り組む。	⑤アリアン				【思考力、判断力、表現力等】 旋律や歌詞と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の歌曲に興味関心をもち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱活動に取り組んでいる。					10
	E キーボード独奏 【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組む。	歓喜の歌				【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。					14
	F ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取る。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付ける。	ミュージカル映画 「ハイスクールミュージカル1」				【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付けている。					2
3 学 期	G 合唱 【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組む。	3部合唱 心の瞳				【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組んでいる。					7
	E キーボード独奏 【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした応用的な器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて応用的な表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組む。	夏祭り				【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした応用的な器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて応用的な表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。					7
	I 創作 【知識及び技能】 日本音階を理解し、陰音階を使用して即興的な旋律を創作する。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫する。	打楽器小物を用いた音素材での創作				【知識及び技能】 打楽器小物を使用して即興的な旋律を創作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】					4
										合計	

<p>【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的に良い創作活動となるよう取り組む。</p>			○	互いに創作した曲を聴きあいながら、各目異なる主体的・協働的に良い創作活動となるよう取り組むことができる。	○	○	○	70
---------------------------------------------------------------------	--	--	---	------------------------------------------------------	---	---	---	----

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：清水）（2組：清水）（3組：清水）（4組：清水）（5組：清水）（6組：清水）

使用教科書：（美術 I（光村図書））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する基礎的な理解と表現の技能を身に付ける。また、芸術の幅広い活動を通して、各科目における様々な見方・考え方を働かせることができるよう育成する。

【思考力、判断力、表現力等】創造的に表現を工夫し、芸術の良さや美しさを深く味わう力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する態度を養うとともに、感性や情操を豊かにする。さらに、生活や社会の中で芸術や文化と主体的に関わり、心豊かな生活や社会を創造しようとする態度を育てる。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて材料や用具、表現方法を適切に選択し、創意工夫を生かして創造的に表現するための技能を身に付ける。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発想し構想を練る力を育てるとともに、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組む態度を養い、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していこうとする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映						
1 学 期	<b>ドローイング「身近なものを描く」</b> <b>— 自分を見つめて —</b> 【知識及び技能】 形や大きさ、陰影や質感などの特性を理解し、用具を適切に扱いながら対象の特徴を捉えて描くことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 身近なものや自分との関わりに目を向け、主題を設定し、構図や表し方を工夫して表現する力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象をよく観察しながら主体的に制作に取り組み、試行錯誤や振り返りを通して表現を深めようとする態度を養う	【指導事項・内容】 ・観察の方法（形・大きさ・バランス） ・陰影の表現（明暗・立体感） ・質感の表現（硬さ・柔らかさ・光沢） ・構図の工夫（配置・余白・視点） ・主題設定（自分との関わりのあるモチーフ） ・下描きから描き込みまでの制作過程 ・鑑賞・相互評価	○			【知識・技能】 ・形や陰影、質感などの特性を生かして表現している ・用具を適切に扱い、丁寧に描写している 【思考・判断・表現】 ・自分との関わりを踏まえた主題が明確である ・構図や表し方に工夫があり、意図が伝わる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に観察・制作に取り組んでいる ・試行錯誤や振り返りが見られる	○	○	○	6
	<b>【想像を形に】</b> <b>— 想像の世界を表そう —</b> 【知識及び技能】 形や色、材料の特性を理解し、用具を適切に扱いながら意図に応じた表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の発想をもとに主題を設定し、形や色、構成を工夫して想像の世界を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 試行錯誤しながら主体的に制作に取り組み、他者の表現から学ぶとする。	【指導事項・内容】 ・想像表現の理解（発想・組み合わせ・変形） ・主題設定（表したい世界やイメージ） ・アイデアスケッチによる構想 ・形や色、構成の工夫 ・用具・材料の活用と制作 ・鑑賞・相互評価	○			【知識・技能】 ・形や色、材料の特性を生かして表現している ・用具を適切に扱い、丁寧に制作している 【思考・判断・表現】 ・主題が明確である ・発想や構成に工夫があり、意図が伝わる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に制作に取り組んでいる ・試行錯誤や振り返りが見られる	○	○	○	20
2 学 期	<b>平面構成「色と形で魅力を伝える」</b> 【知識及び技能】 色彩や形の基本的な性質（配色、対比、バランスなど）について理解し、意図に応じて材料や用具を適切に用い、効果的に表現する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 伝えたいテーマや対象の魅力を捉え、色や形の組み合わせを工夫しながら、構成や配色を考え、主題を明確にした表現を構想する力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 試行錯誤を重ねながら主体的に表現に取り組み、自分の意図をよりよく伝えようと工夫するとともに、作品のよさや工夫を認め合い、表現活動に意欲的に関わろうとする態度を養う。	【指導事項・内容】 ・色の性質（色相・明度・彩度）と配色の基礎（対比・調和） ・形の構成（大小・反復・リズム・バランス） ・主題設定（「魅力」とは何かを考える） ・アイデアスケッチによる発想・構想 ・配色計画と構成の検討 ・着彩・制作（アクリルガッシュ、水彩、色鉛筆など） ・鑑賞・相互評価（意図と表現の関係を読み取る）		○	○	【知識・技能】 ・色彩や構成の基礎を理解しているか（ワークシート・発言） ・意図に応じた用具の使い方や着彩ができているか（作品） 【思考・判断・表現】 ・主題が明確で、色や形の工夫によって魅力が伝わる構成になっているか（下描き・作品） ・発想や構想の過程が見られるか（アイデアスケッチ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・試行錯誤しながら粘り強く制作に取り組んでいるか（制作態度・振り返り） ・他者の作品から学び、自身の表現に生かそうとしているか（鑑賞・記述）	○	○	○	26
	<b>動き出す形たち</b> <b>— フィギュアによるアニメーション —</b> 【知識及び技能】 立体表現の基礎や素材の特性、動きの表現方法（連続・変化）について理解し、道具や材料、機器を適切に扱い、心豊かな生活や社会を創造しようとする態度を育てる。	【指導事項・内容】 ・形から発想するイメージづくり（動き・ストーリー） ・フィギュア制作（形態・バランス・ポーズの工夫） ・動きの表現（コマ撮り・連続性・変化） ・構図・画面構成（背景・前景・相対）				【知識・技能】 ・立体や素材の特性、動きの表現方法を生かして制作している ・用具や機器を適切に扱い、丁寧に制作している 【思考・判断・表現】 ・形や動きから主題を見だし、意図が明確である ・構図や表し方に工夫があり、意図が伝わる				

3 学 期	<p>用具や材料、機器を適切に扱いたから表現できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 形やポーズ、動きの組み合わせをもとに主題を見だし、フィギュアとアニメーションを通して意図やイメージが伝わるように構想し表現する力を育てる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に試行錯誤を重ねながら制作に取り組み、他者の表現から学び、自らの表現を深めようとする態度を養う。</p>	<p>・構図・画面構成（背景・配置・視点） ・アイデアスケッチ・絵コンテの作成 ・鑑賞および相互評価</p>	○	○	○	<p>・フィギュアとアニメーションの上手により、伝わる表現となっている</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に制作や撮影に取り組んでいる ・試行錯誤や振り返りを通して表現を深めようとしている</p>	○	○	○	18
	合計 70									





【学びに向かう力、人間性等】  
ネット友だちについて、自分の考えを伝える。

んで、概要や要点を捉えようとしている。



高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科: 外国語

科目: 英語コミュニケーションⅡ

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者: ( 1・2 組: 青柳・中島・武藤 ) ( 3・4 組: 青柳・中島・武藤 ) ( 5・6 組: 青柳・加藤・武藤 )

使用教科書: ( MY WAY English Communication II (三省堂) )

使用教材: ( MY WAY English Communication II Workbook・英単語ターゲット1400・Listening Pilot・ActiveReader Basic )

単元の目標:

【知識及び技能】各単元について知識と技能を身に付け、それらを深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】各単元について理解し、自分の意見を持ち、表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】各単元について、興味と関心を深めることができる。

単元名: ( L1 Dances Around the World・L2 Katsura Sunshine )

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
L1 Dances Around the World・L2 Katsura Sunshineについて知識と技能を身に付けているか。	L1 Dances Around the World・L2 Katsura Sunshineについて理解し、自分の意見を持ち、表現できているか。	L1 Dances Around the World・L2 Katsura Sunshineについて興味と関心を深めることができたか。

実施予定: 4 月 3 週 ~ 5 月 4 週

	具体的な指導目標	指導項目・内容	領域						知 思 態	評価の方法	実績(実施日)					
			聞	読	話 [や]	話 [発]	書	1 組			2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	
第1時	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景について知識と技能を身に付けているか、多角的な視点で評価を行						
第2時	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景について理解し、自分の意見を持ち、表現することができる。	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景について理解し、考え方を身に付けているか、多角的な視点で評価						
第3時	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景について興味と関心を深める。	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景について興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評価						
第4時	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景について興味と関心を深める。	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section1 フラダンスの背景について興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評価						
第5時	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景について知識と技能を深める。	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景について知識と技能を身に付けているか、多角的な視点で評						
第6時	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景について理解し、自分の意見を持ち、表現することができる。	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景について理解し、考え方を身に付けているか、多角的な視点						
第7時	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景について興味と関心を深める。	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景について興味と関心を深めることができたか、多角的な視点						
第8時	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景について興味と関心を深める。	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section2 アイリッシュダンスの背景について興味と関心を深めることができたか、多角的な視点						
第9時	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義について知識と技能を深める。	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義について知識と技能を身に付けているか、多角的な視						
...	Lesson1 Dances Around the	Lesson1 Dances Around the World								Lesson1 Dances Around						

第10時	World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義について理解し、自分の意見を持ち、表現することができる。	Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義	○	○	○	○	○	○	○	○	the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義について理解し、考え方を身に付けているか、多角的								
第11時	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義について興味と関心を深める。	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義について興味と関心を深めることができたか、多角的								
第12時	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義について興味と関心を深める。	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Section3 ブレイキンの背景、ダンスの意義について興味と関心を深めることができたか、多角的								
第13時	Lesson1 Dances Around the World Challenge チアダンスの背景について知識と技能を深める。	Lesson1 Dances Around the World Challenge チアダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Challenge チアダンスの背景について知識と技能を身に付けているか、多角的な視点で評価を行								
第14時	Lesson1 Dances Around the World Challenge チアダンスの背景について興味と関心を深める。	Lesson1 Dances Around the World Challenge チアダンスの背景	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson1 Dances Around the World Challenge チアダンスの背景について興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評価								
第15時	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由について知識と技能を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由について知識と技能を身に付けているか、多角的な視点								
第16時	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由について理解し、自分の意見を持ち、表現することができる。	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由について理解し、考え方を身に付けているか、多角的な								
第17時	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由について興味と関心を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由について興味と関心を深めることができたか、多角的な								
第18時	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由について興味と関心を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section1 三輝さんが落語家になった理由について興味と関心を深めることができたか、多角的な								
第19時	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なことについて知識と技能を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なこと	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なことについて知識と技能を身に付けているか、多角的な視点で評価								
第20時	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なことについて理解し、自分の意見を持ち、表現することができる。	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なこと	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なことについて理解し、考え方を身に付けているか、多角的な視点で								
第21時	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なことについて興味と関心を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なこと	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なことについて興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評								
第22時	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なことについて興味と関心を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なこと	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section2 海外公演で重要なことについて興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評								
第23時	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていることについて知識と技能を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていること	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていることについて知識と技能を身に付けているか、多角的な視点								
第24時	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていることについて理解し自分の意見を持ち、表現することができる。	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていること	○	○	○	○	○	○	○	○	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていることについて理解し、考え方を身に付けているか、多角的な								

第25時	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていることについて興味と関心を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていることについて興味と関心を深めることができたか、多角的な						
第26時	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていることについて興味と関心を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Lesson2 Katsura Sunshine Section3 三輝さんが大切にしていることについて興味と関心を深めることができたか、多角的な						
第27時	Lesson2 Katsura Sunshine challenge 三輝さんの小唄について興味と関心を深める。	Lesson2 Katsura Sunshine challenge 三輝さんの小唄	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Lesson2 Katsura Sunshine challenge 三輝さんの小唄について興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評価						
第28時	これまで習ってきた範囲について理解し、自分の意見を持ち、表現できている。	定期考査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	これまで習ってきた範囲						

週ごとの指導計画(単元指導計画) 様式例

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科: 外国語

科目: 英語コミュニケーションⅢ

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 6 組

教科担当者: (1 組: 柏木) (2 組: 門馬) (3 組: 柏木) (4 組: 加藤) (5 組: 加藤) (6 組: 門馬)

使用教科書: ( My Way English Communication Ⅲ 三省堂 )

使用教材: ( MY WAY English Communication Ⅲ Workbook (三省堂), 英単語ターゲット(旺文社) )

単元の目標:

【知識及び技能】S1 Spelling Bee, Blended Words, S2 Green Roofs, London National Park City, S3 Robotic pets, Flying Carsについて知識と技能を深める。

【思考力、判断力、表現力等】S1 Spelling Bee, Blended Words, S2 Green Roofs, London National Park City, S3 Robotic pets, Flying Carsについて理解し、考え方を学ぶ。

【学びに向かう力、人間性等】S1 Spelling Bee, Blended Words, S2 Green Roofs, London National Park City, S3 Robotic pets, Flying Carsについて興味と関心を深める。

単元名: ( S1 Spelling Bee, Blended Words, S2 Green Roofs, London National Park City, S3 )

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
S1 Spelling Bee, Blended Words, S2 Green Roofs, London National Park City, S3 Robotic pets, Flying Carsについて知識と技能を身に付けているか。	S1 Spelling Bee, Blended Words, S2 Green Roofs, London National Park City, S3 Robotic pets, Flying Carsについて理解し、自分の意見を持ち、表現できているか。	S1 Spelling Bee, Blended Words, S2 Green Roofs, London National Park City, S3 Robotic pets, Flying Carsについて興味と関心を深めることができたか。

実施予定: 4 月 3 週 ~ 5 月 4 週

	具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					知	思	態	評価の方法	実績(実施日)					
			聞	読	話 [や]	話 [発]	書					1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組
第1時	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を深める。	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を身に付けているか、多角的な視点で評価を行う。							
第2時	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて理解し、考え方を学ぶ。	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて理解し、考え方を身に付けているか、多角的な視点で評価を行う。							
第3時	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて興味と関心を深める。	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評価を行う。							
第4時	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を深める。	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を身に付けているか、多角的な視点で評価を行う。							
第5時	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて理解し、考え方を学ぶ。	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて理解し、考え方を身に付けているか、多角的な視点で評価を行う。							
第6時	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて興味と関心を深める。	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 1の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評価を行う。							
第7時	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を深める。	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を身に付けているか、多角的な視点で評価を行う。							
第8時	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて理解し、考え方を学ぶ。	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて理解し、考え方を身に付けているか、多角的な視点で評価を行う。							
第9時	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて興味と関心を深める。	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	○	○	○	○	○	○	○	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評価を行う。							
...	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を深める。	Strategy 2の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと								Strategy 2の新出語句の							



第25時	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を深める。	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて知識と技能を身に付けているか、多角的な視点で評価を行う。						
第26時	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて理解し、考え方を学ぶ。	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて理解し、考え方を身に付けているか、多角的な視点で評価を行う。						
第27時	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて興味と関心を深める。	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Strategy 3の新出語句の意味を理解し、本文を正確に読むことについて興味と関心を深めることができたか、多角的な視点で評価を行う。						
第28時	これまで習ってきた範囲について理解し、自分の意見を持ち、表現できている。	定期考査	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	これまで習ってきた範囲について理解し自分の意見を持ち、表現できているか、多角的な視点で評価を行う。						

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 6 組

教科担当者: (1 組: 河野・中島 ( 2 組: 河野・門 ( 3 組: 河野・門 ( 4 組: 香川・中 ( 5 組: 香川・中島 6 組: 香川・門馬

使用教科書: ( My Way English Logic and Expression I New Edition

使用教材: ( My Way English Logic and Expression I New Edition サブノート )

単元の目標:

【知識及び技能】音声や語彙、表現、文法、言語の理解を深め、実際の場面で適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】日常的な話題や社会的な話題について情報や考えの要点を理解し、適切に表現できる技能を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化を理解し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養

単元名: ( Lesson6 Part1 / Part2, Lesson7 Part1 / Part2 )

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き の理解を深め、聞くこと、読むこと、話すこ と、書くことによる実際のコミュニケーション において、目的や場面、状況などに応じて適切 に活用できる技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題について、外国語 で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手 や書き手の意図などを的確に理解したり、これ らを活用して適切に表現したり伝えたりす	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しなが ら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニ ケーションを図る態度を身につける。

実施予定: 10 月 4 週 ~ 12 月 3 週

	具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					知 思 態	評価の方法	実績(実施日)							
			聞	読	話 [や]	話 [発]	書			1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組		
第1時	Lesson6 Part1 買い物をするときの表現を身に つける	Lesson6 Part1 Traveling Abroad	○	○	○	○		○	○	○	観察 サブノートの記述						
第2時	Lesson6 Part1 買い物をするときの会話を実際 に行う	Lesson6 Part1 Traveling Abroad	○	○	○	○		○	○	○	観察 サブノートの記述						
第3時	Lesson6 Part1 不定詞(名詞的用法・形容詞的 用法)について理解し、それを 活用して適切に表現する	Lesson6 Part1 不定詞(名詞的用法・形容詞的用法)	○		○	○		○	○	○	観察 プリントの記述						
第4時	Lesson6 Part2 旅行先から友だちへのメッセ ージを書くための表現を身に つける	Lesson6 Part2 Traveling Abroad	○	○	○	○		○	○	○	観察 サブノートの記述						
第5時	Lesson6 Part2 旅行先から友だちへのメッセ ージを実際を書く	Lesson6 Part2 Traveling Abroad	○	○	○	○		○	○	○	観察 サブノートの記述						
第6時	Lesson6 Part2 不定詞(副詞的用法・形容詞的 用法)について理解し、それを 活用して適切に表現する	Lesson6 Part2 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法)	○	○	○	○		○	○	○	観察 プリントの記述						
第7時	Special Activity 行ってみたい場所について説明 しよう	Special Activity 行ってみたい場所について説明しよ う	○	○	○	○		○	○	○	観察 教科書の記述						



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：山崎暖） （2組：浦嶋澄香） （3組：山崎暖） （4組：馬橋里菜） （5組：馬橋里菜） （6組：浦嶋澄香）

使用教科書： （ ウェルビーイングにつなぐ家庭基礎(教育図書) ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学 期	A これからの生き方と家族 【知識及び技能】 生涯を見通しながら、様々な生活課題に対応して適切に意思決定し、責任を持って行動することが重要であることへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の家族の特徴、家庭の機能と家族関係、家庭を支える労働、家族・家庭の意義や社会とのかかわり、男女が協力して家庭を築く都の重要性について考える 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。結婚や家族について、自分とどう関わっているのか、興味・関心を持つようとしている。	・生涯の生活設計 ・家族・家庭と社会のかかわり	【知識・技能】 自分や人の一生についての考えをまとめることができる。結婚、家族・家庭の多様化や、時代と共に変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。結婚や家族について、自分とどう関わっているのか、興味・関心を持つようとしている。	○	○	○	10
	B 衣生活を作る 【知識及び技能】 TPOを考えた着装ができる。 衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。衣服素材の種類と特徴、衣服素材について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの衣生活が環境や世界とどのようにつながっているのかを理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の衣生活について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。基礎縫いの確認のための実習において、積極的に取り組む。	・人の一生と被服 ・被服材料と管理 ・これからの衣生活	【知識・技能】 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 【思考・判断・表現】 現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の衣生活について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。基礎縫いの確認のための実習において、積極的に取り組む。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	C 経済生活を作る 【知識及び技能】 生活における経済と社会のかかわりについて気づき、消費者として自立できるよう消費者の権利と責任について考え、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、契約についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考えることができる。	・私たちの暮らしと経済 ・消費者問題を考える ・持続可能な社会をめざして	【知識・技能】 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、契約についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考えることができる。				







高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 産業社会と人間 科目 産業社会と人間

教科： 産業社会と人間 科目： 産業社会と人間 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：鈴木・柏木・土井） （2組：山崎・星野） （3組：大房・加藤(日)） （4組：山下・中島） （5組：吉岡・中田） （6組：河野・椋原）

使用教科書：（なし）

教科 産業社会と人間

の目標：

- 【知識及び技能】 ・地域社会における自己の在り方生き方について考えるために必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、学習に取り組むことの意義や価値を理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒が主体的に自己の将来の生き方や進路についての考察を行い、履修計画を作成している。

科目 産業社会と人間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・地域社会における自己の在り方生き方について考えるために必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、学習に取り組むことの意義や価値を理解している。	・地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	・地域社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒が主体的に自己の将来の生き方や進路についての考察を行い、履修計画を作成している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元1】 様々な価値観に触れながら、自己理解を深め、キャリアに対して主体的と考えられる。	【指導事項】 1. 業種・職種について 2. 学生ファシリテータによる進路説明会 3. 選択科目説明会 4. オープンキャンパス事前指導	【知識・技能】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動を通して、キャリアについて理解を深め、各教科・科目の履修計画の作り方を理解している。  【思考・判断・表現】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動の中で、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい生き方を考えようとしている。□ □	○	○	○	26
	【単元1】 様々な価値観に触れながら、自己理解を深め、キャリアに対して主体的と考えられる。	【指導事項】 1. オープンキャンパス事後指導 2. 高校生活の目標作成	1学期単元1と同一評価	○	○	○	8
2 学期	【単元2】 ビジネスアイデアを作成する流れを学ぶ。	【指導事項】 1. ビジネスアイデアはどのように作られるかを知る。 2. ターゲットを定める方法、優れたアイデアを作成する方法を学ぶ。 3. グループでまとめたアイデアをまとめ、表現する。	【知識・技能】 ビジネスアイデアを作成する流れを活用し、課題の発見・解決するために必要な情報の得方や、整理の方法を理解している。  【思考・判断・表現】 ビジネスアイデアを作成する流れを知る学習のなかで、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスアイデアを作成する流れを知る学習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造しようとしている。	○	○	○	10
	【単元3】 地域の思いや課題を知り、自分自身ができることを提案する。	・指導事項 1. 町田市の概要 2. 地域の課題や地域の思い 3. アイデア整理シート作成 4. 中間発表 5. プレゼン資料作成	【知識・技能】 地域社会における自己の在り方生き方について理解している。  【思考・判断・表現】 ビジネスアイデアを作成する流れを活用し、地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】 地域社会に主体的・協働的に関わること	○	○	○	14
3 学期	【単元4】 地域の思いや課題を知り、自分自身ができることを提案する。	・指導事項 1. プレゼン資料作成 2. マッチング会	【知識・技能】 地域社会における自己の在り方生き方について理解している。  【思考・判断・表現】				

		<p>ビジネスアイデアを作成する流れを活用し、地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  地域社会に、主体的・協働的に関わろうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。</p>	○	○	○	12
						合計
						70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会 科目：人間と社会

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：棟方・星野）（2組：青柳・馬橋）（3組：奥・折井）（4組：織田・中田）（5組：益子・野口）（6組：武藤・西村）

使用教科書：（『人間と社会』 東京都教育委員会）（全体：香川・柏木）

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要

【思考力、判断力、表現力等】社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、

【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 校内の体験活動 グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。	・芝生の管理作業についてを知る。 ・芝刈り機を用いて、実際に芝生の管理を体験する。 ・除草作業を行い、芝生の管理を体験する。	【知識・技能】 グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。 【思考・判断・表現】 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりか	○	○	○	2
	B 単元 修学旅行事前学習ー 平和学習 「平和」を実現する主権者として、社会の在り方は主権者1人ひとりの生き方・在り方であることを理解し、よりよい社会の実現のために責任ある選択し続ける意欲を涵養する。	・教科「人間と社会」における平和学習 ・被爆者体験伝承講話	【知識・技能】 現地で見たいもの、何を感ずたいのか、学習者一人ひとりの広島修学旅行の目的を明確にする。 【思考・判断・表現】 「平和」を実現する主権者として、社会の在り方は主権者1人ひとりの生き方・在り方であることを理解し、よりよい社会の実現のために責	○	○	○	4
	C 単元 テーマ別学習 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それを基に議論	・ルールとマナー ー スマートフォン時代のコミュニケーション ・文化の多様性 ・食文化から見た多様性	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりか	○	○	○	3
夏 休 み ・ 2 学 期	D 単元 夏の体験活動 町田市探究で関わった団体が主催するイベントに参加することで、地域社会の実態や、地域社会で行われている取り組み、それらに込められた思いを知ることで、地域貢献に対する視点を増やす。	・校内・校外における体験活動	【知識・技能】 町田市探究で関わった団体が主催するイベントに参加することで、地域社会の実態や地域社会で行われている取り組みについてを理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の課題に気づく力を育み、地域社会	○	○	○	6
	E 単元 修学旅行事前学習ー 平和学習 「平和」を実現する主権者として、社会の在り方は主権者1人ひとりの生き方・在り方であることを理解し、よりよい社会の実現のために責任ある選択し続ける意欲を涵養する。	・パネルディスカッションに向けたパネル製作 ・修学旅行（広島） 一次情報の収集・体験からの学び ・パネルディスカッション	【知識・技能】 現地で一次情報を収集し、得られた感動や感覚をもとに、現実の課題を理解する。 【思考・判断・表現】 現実の課題に対して疑問を抱いたり葛藤したりする中で、自分なりの「平和」の在り方について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	F 単元 IBL DAY IBL Dayを通じて、多面的な見方・考え方を獲得するとともに、探究のプロセスを練習する。	・探究学習導入 ・IBL Day事前学習 ・IBL Day ・IBL Day事後学習	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	○	○	○	8
3 学 期	G 単元 課題研究 ・課題研究のテーマを決める。 ・課題研究において、課題や調査方法、仮説を考え、発表する。	・完成された論文を読む ・自己分析 ・課題研究テーマ決め ・探究する課題設定 ・課題研究計画作成	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	○	○	○	8
							合計 35

※今年度より、4限「探究」、5限「人間と社会」にて授業を実施し、両科目の内容が相互に関連するよう構成する。



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 探究 科目 探究

教科：探究

科目：探究

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：棟方・星野）（2組：青柳・馬橋）（3組：奥・折井）（4組：織田・中田）（5組：益子・野口）（6組：武藤・西村）

使用教科書：（ ）（全体：香川・柏木）

教科 探究

の目標：

【知識及び技能】 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

科目 探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 校内の体験活動 グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。	・芝生の管理作業についてを知る。 ・芝刈り機を用いて、実際に芝生の管理を体験する。 ・除草作業を行い、芝生の管理を体験する。	【知識・技能】 グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。 【思考・判断・表現】 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりか	○	○	○	2
	B 単元 修学旅行事前学習ー 平和学習 「平和」を実現する主権者として、社会の在り方は主権者1人ひとりの生き方・在り方であることを理解し、よりよい社会の実現のために責任ある選択し続ける意欲を涵養する。	・教科「人間と社会」における平和学習 ・被爆者体験伝承講話	【知識・技能】 現地では何を見て、何を感じたいのか、学習者一人ひとりの広島修学旅行の目的を明確にする。 【思考・判断・表現】 「平和」を実現する主権者として、社会の在り方は主権者1人ひとりの生き方・在り方であることを理解し、よりよい社会の実現のために責	○	○	○	4
	C 単元 テーマ別学習 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それを基に議論	・ルールとマナー ー スマートフォン時代のコミュニケーション ・文化の多様性 ・食文化から見た多様性	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりか	○	○	○	3
夏 休 み ・ 2 学 期	D 単元 夏の体験活動 町田市探究で関わった団体が主催するイベントに参加することで、地域社会の実態や、地域社会で行われている取り組み、それらに込められた思いを知ることで、地域貢献に対する視点を増やす。	・校内・校外における体験活動	【知識・技能】 町田市探究で関わった団体が主催するイベントに参加することで、地域社会の実態や地域社会で行われている取り組みについてを理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の課題に気づく力を育み、地域社会	○	○	○	6
	E 単元 修学旅行事前学習ー 平和学習 「平和」を実現する主権者として、社会の在り方は主権者1人ひとりの生き方・在り方であることを理解し、よりよい社会の実現のために責任ある選択し続ける意欲を涵養する。	・パネルディスカッションに向けたパネル製作 ・修学旅行（広島） 一次情報の収集・体験からの学び ・パネルディスカッション	【知識・技能】 現地では一次情報を収集し、得られた感動や感覚をもとに、現実の課題を理解する。 【思考・判断・表現】 現実の課題に対して疑問を抱いたり葛藤したりする中で、自分なりの「平和」の在り方について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	F 単元 IBL DAY IBL Dayを通じて、多面的な見方・考え方を獲得するとともに、探究のプロセスを練習する。	・探究学習導入 ・IBL Day事前学習 ・IBL Day ・IBL Day事後学習	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	○	○	○	8
3 学 期	G 単元 課題研究 ・課題研究のテーマを決める。 ・課題研究において、課題や調査方法、仮説を考え、発表する。	・完成された論文を読む ・自己分析 ・課題研究テーマ決め ・探究する課題設定 ・課題研究計画作成	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	○	○	○	8
							合計 35

※今年度より、4限「探究」、5限「人間と社会」にて授業を実施し、両科目の内容が相互に関連するよう構成する。



高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 課題研究 科目 課題研究

教科: 課題研究 科目: 課題研究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 1組~ 6組

教科担当者: 3年次担任他担当者19名

使用教科書: (なし)

- 教科 課題研究 の目標:
- 【知識及び技能】多様な教科・科目の選択履修によって深められた知的好奇心などに基づいて自ら課題を設定する。
  - 【思考力、判断力、表現力等】課題の解決を図る学習を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
  - 【学びに向かう力、人間性等】自己の将来の進路選択を含め人間としての在り方生き方について考察する。

科目 課題研究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多様な教科・科目の選択履修によって深められた知的好奇心などに基づいて自ら課題を設定する。	課題の解決を図る学習を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。	自己の将来の進路選択を含め人間としての在り方生き方について考察する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A パソコンの使用方法について 【知識及び技能】パソコンの使用方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】効率的な入力方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】論文作成に必要な力を身に付ける。	・指導事項 パソコンの使用方法 ・教材 タイピング練習ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】パソコンの使用方法が理解できた。 【思考・判断・表現】効率的な入力方法を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】論文作成に必要な力を身に付けることができた。	○	○	○	4
	図書館の使用方法について 【知識及び技能】文献・インターネットの検索方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】論文作成の流れを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】著作権について理解を深める。	・指導事項 論文作成のための図書館利用方法 ・教材 都立高校の生徒のためのラーニングスキルガイド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】文献・インターネットの検索方法を知ることができた。 【思考・判断・表現】論文作成の流れを理解することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】著作権について理解を深めることができた。	○	○	○	4
	B 第1章の下書き・入力 【知識及び技能】文献による調査方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】論文作成に必要な文献を選ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】文献調査により第1章を完成させる。	・指導事項 文献調査の方法 ・教材 引用の記入方法ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】文献による調査方法を知ることができた。 【思考・判断・表現】論文作成に必要な文献を選ぶことができた。 【主体的に学習に取り組む態度】文献調査により第1章を完成させることができた。	○	○	○	8
第2章の下書き・入力 【知識及び技能】体験的調査方法について知る。 【思考力、判断力、表現力等】中間グループ内発表により表現力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】体験的調査を分析し論文に活かす。	・指導事項 体験的調査方法 ・教材 体験的調査方法についてのワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】体験的調査方法について知ることができた。 【思考・判断・表現】中間発表により、表現力を身に付けることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】体験的調査を分析し、論文に活かすことができた。	○	○	○	8	
2 学 期	C 第3章、おわりに・入力 【知識及び技能】論文のまとめ方や参考文献の記入方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】論文を読み返し文章校正を行う。 【学びに向かう力、人間性等】論文を完成させ、発表につなげる。	・指導事項 参考文献記入方法 ・教材 論文チェックシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】論文のまとめ方や参考文献の記入方法を知ることができた。 【思考・判断・表現】論文を読み返し、文章校正を行うことができた。 【主体的に学習に取り組む態度】論文を完成させ、発表につなげることができた。	○	○	○	14
	D 口頭試問・班内発表 【知識及び技能】論文を整理し準備を進め、口頭発表を行う。 【思考力、判断力、表現力等】口頭試問での質問に適切に答える。 【学びに向かう力、人間性等】口頭試問の内容を論文に活かす。	・指導事項 口頭試問・発表に向けての取り組み方 ・教材 発表に向けてのワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】論文を整理し準備を進め、口頭発表を行うことができた。 【思考・判断・表現】口頭試問での質問に適切に答えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】口頭試問の内容を論文に活かすことができた。	○	○	○	16
3 学 期	E 自分の将来に生かす 【知識及び技能】情報収集について注意点を知る。 【思考力、判断力、表現力等】様々な職業の特徴をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】自分の進路活動を振り返る。	・指導事項 情報収集について ・教材 職業調査についてのワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】情報収集について注意点を知ることができた。 【思考・判断・表現】様々な職業の特徴をつかむことができた。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の進路活動を振り返ることができた。 体験的調査を分析し論文に活かすことができた。	○	○	○	8
	探究のまとめ(振り返り) 【知識及び技能】探究のプロセスについて確認する。 【思考力、判断力、表現力等】探究活動で得たものを確認する。 【学びに向かう力、人間性等】新たな探究課題を確認する。	・指導事項 探究のプロセスについての確認 ・教材 探究振り返りのワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】探究のプロセスについて確認することができた。 【思考・判断・表現】探究活動で得たものを確認することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】新たな探究課題を確認することができた。	○	○	○	8
						合計	58

